

六原学区における空家調査

090526 井上えり子

■六原学区での調査

- (1)空家所有者へのアンケート調査(京都市景観・まちづくりセンター;H18)
- (2)露地の調査(京都工繊大;H18)
- (3)六原学区4ヶ町居住者へのヒアリング調査(京女;H18)
- (4)六原学区20ヶ町居住者へのアンケートおよびヒアリング調査+空家所有者へのヒアリング調査(京女;H20)

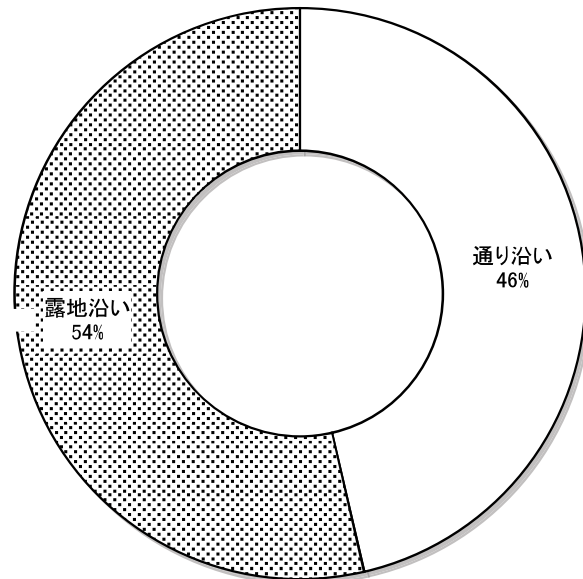
■H20年度調査結果

①空家率(非住居については母数から除く)

町名	空家率 (%)	空家数 (例)
●	3.6	1/28
●	15.9	13/82
●	3.6	1/28
●	30.6	15/49
●	34.5	20/58
	30.8	20/65
	0.0	0/14
	15.9	11/69
	4.8	1/21
	0.0	0/47
	7.5	4/53
	11.1	3/27
	10.0	1/10
	10.7	3/28
	17.5	11/62
	8.4	7/83
●	13.9	11/79
	15.9	22/138
	12.6	22/174
計	14.9	166/1115

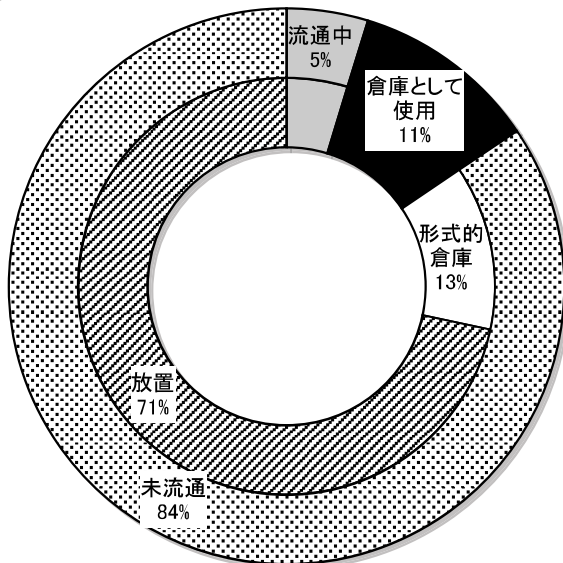
(●;H18年度調査対象地)

②空家の立地(n=166)



- ・空家は露地沿いに集中しているわけではない。
- ・幹線道路沿いは少ない傾向。

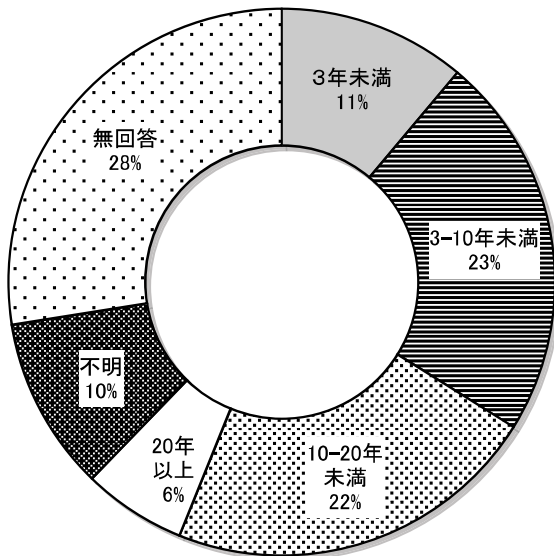
③流通率(n=166)



- ・「放置」の理由は「子どものためにとっておく」「面倒くさい」「育った家なので処分しにくい」等。

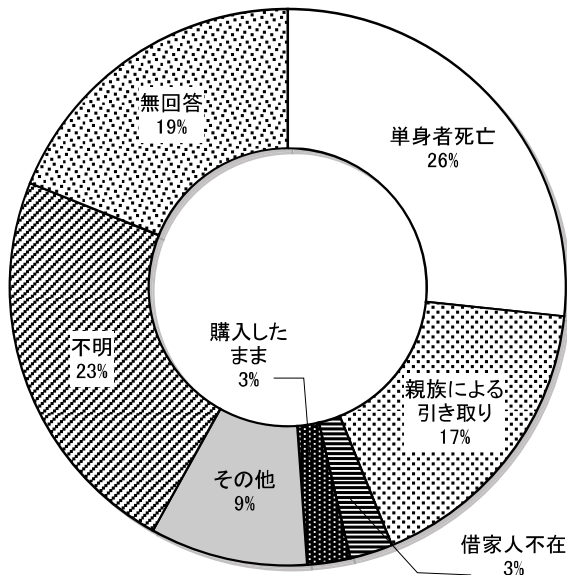
⇒本調査における「空家」の定義：
「本来住宅だった建物で、現在、日常生活に使われていない建物」「子どもが寝室のみに使用」や週末住宅は「空家」としない。

④空家としての経過年数 (n=153)



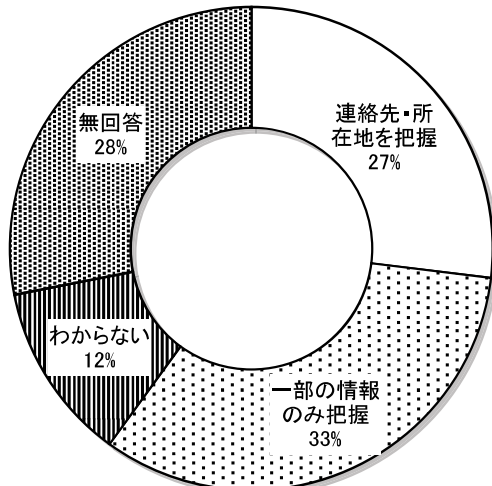
- ・10年以上が28%を占める。
- ・「不明」は「昔過ぎてわからない」を含む。

⑤空家になったきっかけ (n=153)



- ・「単身者死亡」は、単身の高齢者が亡くなったまま空家化した事例。
 - ・「親族による引き取り」は、子どもの家に引き取られる場合に加え、老人ホーム等の施設への入居も含む。
 - ・「借家人不在」は、借家だが最後の借家人が出た後新しく人が入らない事例。
 - ・「購入したまま」は、学区内の居住者が子どものために購入したが、そのままになっている事例。
- ⇒H18年度まちセン調査によれば、空家所有者のうち6割が学区内に居住している。
- ⇒H18年度京女による六原と洛西NTの比較調査；
2軒以上住居を所有する人に対し、その経緯を聞いたところ、
六原(4ヶ町)／7割「購入」 3割「相続」
洛西NT ／2割「購入」 8割「相続」

⑥周辺住民が空家の連絡先を把握 (n=153)



- ・「一部の情報のみ把握」は、「息子さんは東京に住んでいるらしい」等、連絡先まではわからない事例。
- ・町籍簿を更新している町では把握している傾向。
- ・所有者およびその連絡先が把握されている場合、周辺住民の不安感は少ない傾向。